

2023年 追悼企画

## 本で偲ぶ 芥川賞・直木賞作家

2023年に逝去された日本の著名人の中から芥川賞・直木賞の受賞作家を取上げ、県立図書館で所蔵する著作をご紹介します。  
※各氏の紹介文は以下の資料を参考としています。

- 『芥川・直木賞 受賞者総覧 生いたち・栄光のプロフィール 1992年版』(教育社 1992)
- 『作家・小説家人名事典 新訂』(日外アソシエーツ 2002) ・下野新聞、日経新聞掲載の記事(訃報や各賞受賞時等のもの)

## 【芥川賞作家】

## ■三木卓(みき たく)

1935年生まれ。幼年期を満洲で過ごし、1946年に引揚げ、大学に入学。在学中から詩や評論を書く。1967年に発表した第1詩集で、詩壇界の芥川賞と称されるH氏賞を受賞。その後、1973年に『鶉(ひわ)』で第69回芥川賞を受賞。「荒けずりだが、敗戦直後の満洲の現実への視点がしっかりしている。」(大岡昇平)、「大陸の終戦後の日本人の苦しい生活を少年の眼で見させている。材料もいいし、作品全体を素朴な荒々しいタッチで貫いているのいい。」(井上靖)と評された。児童文学の翻訳も多く手がけている。2023年11月逝去。

資料名	出版者	請求記号	資料コード
芥川賞全集 第10巻 (「鶉」収録)	文藝春秋	913.68/36/10	1101690806
わがキディ・ランド	思潮社	カツハン/9/13295	2100467956
路地	講談社	913/ミキ	2100269493
裸足と貝殻	集英社	913/ミ.38/15	1104430317
北原白秋	筑摩書房	911.52/386	1104920432

## 【直木賞受賞作家】

## ■伊集院静(いじゅういん しずか)

1950年生まれ。広告代理店に勤めたのちフリーのCFディレクターになり、テレビCMで脚光を浴びる。有名歌手のコンサートの演出を手がけるほか作詞も行い、「ギンギラギンにさりげなく」「愚か者」等の作品がある。1988年より文筆活動に専念。1992年に『受け月』で第107回直木賞を受賞。「キザな小説だけれど反感をもたない。大人の童話として成り立っている。」(黒岩重吾)と評された。2023年11月逝去。

資料名	出版者	請求記号	資料コード
受け月	文芸春秋	913/イ112/1	1103456115
機関車先生	講談社	913/イジ	2100176607
ごろごろ	講談社	913/イジ	2100313150
ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石	講談社	913/イ.112/12	1105747644
ミチクサ先生 上・下	講談社	913/イ.112/15.1 913/イ.112/15.2	1106489592 1106489600

## ■原寮(はら りょう)

1946年生まれ。大学卒業と同時に上京し、フリーのジャズピアニストとして活躍。その後、故郷に戻り著述活動に専念。緊迫感のあるハードボイルド作品で人気を博した。1989年に『私が殺した少女』で第102回直木賞を受賞。「全選考委員が文章の素晴らしさに感心した。」(黒岩重吾)、「明白な欠点を抱えるにもかかわらず、この小説にはなお受賞作に推したくなるものがそなわっていた。」(山口瞳)と評された。2023年5月逝去。

資料名	出版者	請求記号	資料コード
私が殺した少女	早川書房	913/ハ.66/1	2100037858
それまでの明日	早川書房	913/ハ.66/2	1106225152

裏面へ続く

## 【直木賞受賞作家(続き)】

## ■永井路子(ながい みちこ)

1925年生まれ。1949年に小学館に入社。編集に携わるかたわら執筆した『青苔記』が第45回直木賞候補作になったことを期に退社し、文筆活動に専念する。1964年に『炎環』で第52回直木賞を受賞。「とかく史実の好きな人は小説に面白みがないものだが、永井さんは、それを面白くする方法も知っている。」(松本清張)と評されている。受賞後も定評のある時代考証と、史学界でも話題をよぶほどの新解釈で数々の歴史小説を生み出した。2023年1月逝去。

資料名	出版者	請求記号	資料コード
炎環	光風社書店	カツハン/9/10526	2100440268
氷輪 上・下	中央公論社	913/ナ.43/15-1 913/ナ.43/15-2	1101657391 1101657409
雲と風と	中央公論社	カツハン/9/10508	2100440086
岩倉具視	文藝春秋	913/ナ.43/17	1105248817
北条政子	講談社	913/ナ43/12	1101454609
山霧 上・下	文芸春秋	913/ナカ/1 913/ナカ/2	2100109517 2100109525

## ■西木正明(にしき まさあき)

1940年生まれ。週刊誌の記者を経て作家デビュー。1988年に『凍(しば)れる瞳』『端島(はしま)の女』で第99回直木賞を受賞。「『凍れる瞳』は時代の流れと、それに翻弄される人間の過酷な運命、愛などを、鈍色の光沢を滲ませながら見事に織りあげている。」「『端島の女』の魅力はそこに育った土地と人間の関係が鎖を引きずるように重く描かれているところにある。」(どちらも黒岩重吾)と評されている。2023年12月逝去。

資料名	出版者	請求記号	資料コード
凍(しば)れる瞳(「端島の女」も収録)	文芸春秋	913/ニ.18/1	1103009153
オホーツク諜報船	角川書店	カツハン/9/16015	2100495155
夢幻の山旅	中央公論社	913/ニ.18/2	1103770796
水色の娼婦	文藝春秋	913/ニ.18/7	1105734899
さすらいの舞姫	光文社	913/ニ.18/6	1105477564
ウェルカムトウパールハーバー 上・下	角川学芸出版	913/ニ.18/5.1 913/ニ.18/5.2	1105325961 1105325979

## ■平岩弓枝(ひらいわ ゆみえ)

1932年生まれ。宮司の家に生まれ、幼い頃から日本舞踊や古典芸能を習う。作家の戸川幸夫や長谷川伸に師事し、1959年に『鑿師(たがねし)』で第41回直木賞を受賞。ただし、選考委員からは不評で「よく書けているとも思ったが、最後に人情話めいたものがくっついているのがすっかり興をそいだ。」(海音寺潮五郎)、「大衆小説になり過ぎている。」(小島政二郎)と評されている。受賞後はテレビドラマの脚本も多く手がけたほか、1987年から2010年まで直木賞選考委員を務めた。2023年6月逝去。

資料名	出版者	請求記号	資料コード
鑿師	文藝春秋	カツハン/9/12028	2100455282
御宿かわせみ	毎日新聞社	913/ヒ.10/20	1101462511
肝っ玉かあさん	文藝春秋	カツハン/9/12168	2100456686
女と味噌汁	現文社	カツハン/9/12022	2100455225
下町の女	文藝春秋	913/ヒ.10/14	1101462412
聖徳太子の密使	新潮社	913/ヒ.10/73	1105389702

リストにある資料は、公開資料室4階の展示コーナー(「展4」)にあります。  
リスト以外にも資料があります。詳しくは職員にご相談ください。